

シナリオ (例)			
	発見時の状況	患者背景	蘇生の進行
1	循環器外来で待機中の患者。突然意識消失し、ソファから床に倒れこんだ。	40 歳男性。 1 週間前まで感冒症状があった。感冒症状は消失したが発熱が持続し、数日前より脈拍がとぶようになったため、受診。既往は特になく循環器は初診。急性心筋炎による完全房室ブロックのため高度徐脈となっていた。PEA。	心肺停止状態。CPR 開始。2 分後応援到着。AED 装着。除細動不要の AED 診断だが反応なし。CPR 継続。
2	外来玄関で、突然倒れた。チアノーゼを認めた。	70 歳男性。 急性心筋梗塞の既往あり。虚血性心筋症による心不全のため入退院を繰り返していた。定期受診で来院。Pulseless VT。	心肺停止状態。CPR 開始。2 分後応援到着。AED 装着。除細動適応の診断。除細動後 CPR 再開中、胸骨圧迫を払いのける動作あり。頸動脈触知可能。呼吸あり。呼びかけに「はい」と答える。
3	糖尿病教育入院中の患者が胸痛を訴えナース コール。冷汗あり。看護師がバイタルサインを測定中に「うー」となって意識消失。死戦期呼吸となった。	65 歳女性。 糖尿病のコントロール不良で教育入院中。狭心症あり。内服治療中。急性心筋梗塞発症し VF。	心肺停止状態。CPR 開始。1 分後応援到着。AED 装着。除細動適応の診断。 除細動実施し CPR 再開。 2 度目の AED 診断でも除細動適応。 除細動実施。CPR 継続中、手足を動かす反応あり。頸動脈触知可能。呼吸回復。意識レベル JCS100。循環器 PCI チームに引き継ぐ。
4	脛骨開放性骨折術後の患者。看護師監視下で術後初めての離床直後、胸痛と呼吸困難を訴えベッドに倒れこみ呼吸停止。意識消失。	50 歳男性。 安静中、深部腓骨脈血栓形成。離床により肺梗塞発症。PEA。	心肺停止状態。褥創対策でエアマット使用中である。すぐに背板を入れエアマットの空気を抜き CPR 開始。1 分後応援到着時も反応なし。AED 装着。除細動不要の診断。CPR 継続。
5	内視鏡室前のソファで胃カメラ待機中の患者が突然吐血。顔面蒼白で徐々に意識レベル低下。再度吐血直後、呼吸停止・意識消失。	40 歳女性。 既往なし。食欲不振と空腹時上腹部痛を訴え消化器科受診し、胃カメラのため来院していた。出血性ショックによる PEA。	心肺停止状態。その場にある PPE (手袋、マスク、ゴーグルなど) を可能な限り装着し、CPR 開始。1 分後応援到着時も反応なし。AED 装着。除細動不要の診断。CPR 継続。
6	病棟の浴室で、腰まで湯船に浸かり、浴槽のふちへ仰向けに頭をもたれさせて意識消失しているところを、受け持ち看護師が発見。	78 歳、女性。 白内障の術後、明日退院予定。8 年前に心筋梗塞 3 枝病変バイパスの手術歴あり。再梗塞発症による VF。	浴槽から引き上げ、呼吸・循環確認。心肺停止。CPR 開始。AED 到着。浴室から脱衣場へ移動し、前胸部の水分を取り除き AED 装着。除細動適応の診断。除細動後、CPR 継続。

シナリオ (例)			
	発見時の状況	患者背景	蘇生の進行
7	トイレからナースコール。洋式便器にもたれかかったまま動かない患者を発見。	72 歳、男性。 腹部大動脈瘤の精査目的で入院中。腹部の不快感を訴えていた。 腹部大動脈瘤破裂による Asystole。	肩を叩いて呼びかけるが反応なし。応援を呼び、床に寝かせて呼吸・循環確認。心肺停止。CPR 開始。AED 装着するが、除細動不要の診断。CPR 継続。 ALS へ。
8	透析室の待合室で意識消失。同席していた患者から通報。	48 歳、男性。 週3回の透析目的で来院。食事、水分制限は本人の意向もあり、自由にしていた。1ヶ月前に心不全で循環器科に入院歴あり。高カリウム血症によるPEA。	心肺停止。CPR 開始。AED 装着。が、除細動不要の診断。CPR 継続し診察室に移動。モニター上、T波の増高あり。 ALS へ。
9	病室から大きなうめき音がしたため訪床。ベッド上座位で胸をかきむしるような動作をしている。駆け寄って声をかけると全身引きつるような動きになり、呼びかけに返答なし。	37 歳、男性。 体重120kg。 胸部の不快感を主訴に来院。心臓の精査目的で入院中。 高脂血症、急性心筋梗塞による VF。	ベッドを平らにして反応確認。手足を動かすが引きつり様の痙攣であり目的のある仕草ではない。呼吸なし。CPR 開始。AED 装着。除細動適応の診断。除細動実施。モニター装着し VF 確認。ALS へ。 緊急心臓カテーテル準備のため循環器専門医をコール。
10	外来待合室で、うなだれて様子がおかしい患者がいると事務職員から連絡あり。呼びかけに反応なし。いびき様の不規則な呼吸をしているように見えるがはっきりしない。	58 歳女性。 頭痛を主訴に一人で来院。 脳動脈瘤再破裂による重症くも膜下出血発症に伴う Asystole。	死戦期呼吸。心肺停止。CPR 開始。AED 装着。 が、除細動不要の診断。CPR 継続して処置室に運びモニター装着。 Asystole。ALS へ。 CPR 継続して 2 分おきに波形を確認。家族を探す。